

一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 5月15日

議 会 議 長 様

議席番号 4 番

議員氏名 久松 祐 樹

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 管理不全の空き家への対応は	<p>令和5年度に国勢調査が行われ、令和6年度から令和8年度にかけて空き家の実態調査が実施されました。</p> <p>当町における空き家総数は419件で、平成27年度と比較し50件増となり、空き家の約30%（125件）で屋根の剥落等、約45%（190件）で樹木や雑草の繁茂が生じている等が発生していて、地域住民からは困惑の声も聞かれます。</p> <p>空き家所有者だけの問題ではなく、その近隣の住民の生活へ影響が生じていますが、特に管理不全の空き家に対して、どのように対応していくのか伺う。</p>	<p>町長 副町長 危機管理課長 担当課長</p>
2. よりよい教育環境の整備を	<p>先日、杉戸町立西小学校と杉戸町立高野台小学校を見学してきました。特に西小学校では外壁や内装の剥がれ、それによる雨漏り、ひび割れなどの老朽化が深刻ですが、予算不足のため、補修ができていない現状があります。</p> <p>当町の予算規模は、年々大きくなっていますが、学校施設の老朽化対策に使えるお金は足りず、学校が学校としての機能を果たせなくなることを危惧しています。そこで以下伺う。</p> <p>(1) お金がないため補修ができていない現状を、町はどのように考えているのか。</p> <p>(2) 町長は学校給食費の段階的無償化を実施しているが、給食を提供する学校施設の老朽化が深刻である。学校施設の維持管理費の捻出や子どもたち・先生方よりよい教育環境の整備の必要性をどのように考え</p>	<p>町長 副町長 教育長 教育総務課長 学校教育課長 担当課長</p>

5月15日 午後 2時20分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
3. 人と人の絆の再生を	<p>ているのか。</p> <p>ふれあいの希薄化や核家族化など社会環境の変化に伴い、地域住民から行政へのニーズは多様化し、行政がそれらすべてに応えきれない現状があると考えます。</p> <p>行政の役割やあり方について立ち止まり、行政として何にどのような支援をしていくのか考える必要性を感じています。</p> <p>行政だけでまちづくりをすることは不可能であり、官民が一致団結したまちづくりを目指していただきたく、以下伺う。</p> <p>(1) 自治会は住民の自治組織であるが、行政との連絡役を担い、地域課題の解決や災害時の助け合いの基盤になり、まちづくりのための大切な役割を担っている。しかし、自治会の担い手不足の声もある中、住民自治をどのように支援していくかは課題である。</p> <p>「第6次杉戸町総合振興計画後期基本計画」における「スギトゴトプロジェクト」では、スギトのコトを自分ゴトとして「考え、行動する」ことが設定されているが、本プロジェクトの実現のために、住民自治に対して、どのような支援をしていくのか。</p> <p>(2) 三世代家族で同居・近居することを推進している自治体もある。高齢者の孤立防止や子育ての負担軽減という意味でも、三世代で永く住めるまちづくりを推進するのはいかがか。</p> <p>(3) 保護者の病気や虐待などにより、家庭での養育が困難な子どももいる。里親制度において、ケアを必要とする子どもへの町の支援状況は。</p>	<p>町長 副町長 住民協働課長 総合政策課長 子育て支援課長 担当課長</p>